

## 4 防止対策の内容別典型7公害の直接処理件数

- 典型7公害の直接処理では、防止対策を講じたものが全体の61.8%

〈統計表第33表参照〉

典型7公害の直接処理件数(46,577件)を防止対策の内容別にみると、「作業方法、使用方法の改善」が20,991件(45.1%)、「その他の方法で対策を講じた」が7,815件(16.8%)、「防止対策は何も講じていない」が7,949件(17.1%)、「不明」が9,822件(21.1%)となっており、防止対策を講じたもの<sup>10</sup>が全体の61.8%となっている(図21、表12)。

図21 防止対策の内容別典型7公害の直接処理件数

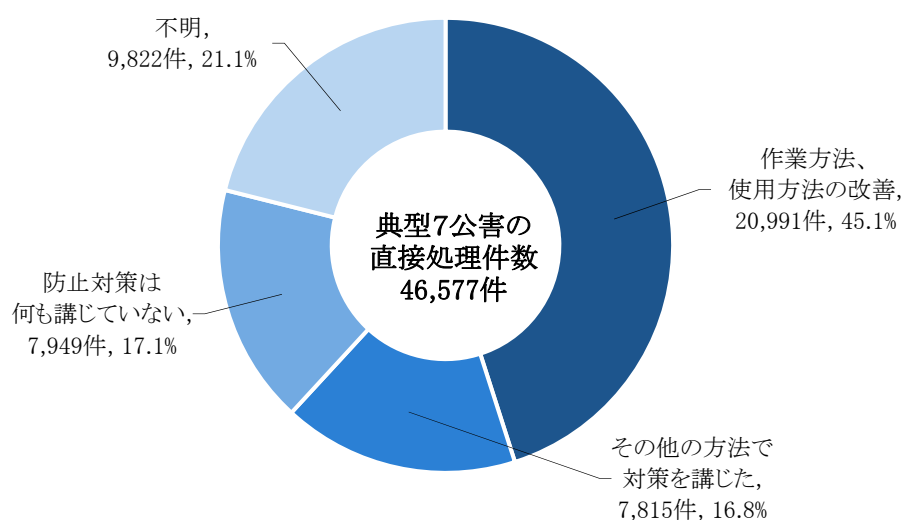


表12 防止対策の内容別典型7公害の直接処理件数

(単位：件)

公害の種類		合計	作業方法、使用方法の改善	その他の方法で対策を講じた	防止対策は何も講じていない	不明
直接処理件数	典型7公害	46,577	20,991	7,815	7,949	9,822
	大気汚染	13,184	6,472	2,612	2,031	2,069
	水質汚濁	4,435	1,231	1,211	1,301	692
	土壌汚染	157	45	74	29	9
	騒音	17,500	8,568	2,155	2,394	4,383
	低周波	270	41	31	116	82
	振動	2,120	1,033	216	280	591
	地盤沈下	18	4	2	8	4
	悪臭	9,163	3,638	1,545	1,906	2,074
構成比(%)	典型7公害	100.0	45.1	16.8	17.1	21.1
	大気汚染	100.0	49.1	19.8	15.4	15.7
	水質汚濁	100.0	27.8	27.3	29.3	15.6
	土壌汚染	100.0	28.7	47.1	18.5	5.7
	騒音	100.0	49.0	12.3	13.7	25.0
	低周波	100.0	15.2	11.5	43.0	30.4
	振動	100.0	48.7	10.2	13.2	27.9
	地盤沈下	100.0	22.2	11.1	44.4	22.2
	悪臭	100.0	39.7	16.9	20.8	22.6

9 防止対策の内容の区分は、「作業方法、使用方法の改善」「その他の方法で対策を講じた」「防止対策は何も講じていない」及び「不明」の4種類

10 防止対策を講じたものについては、「作業方法、使用方法の改善」及び「その他の方法で対策を講じた」の合計